

21年度一般会計
決算認定

余らせた大きなお金、安易な負担増に反対

本山修一議員は、平成21年度一般会計決算認定議案について次のような反対討論（要旨）を行いました。

相次ぐ値上げ・負担増

本議案は、市長が就任して初めての予算編成で、第1に健康長寿奨励金の廃止、在宅心身障害者手当の削減、学校給食費の値上げ、負担増が行なわれました。第2は、民生費が約8億円、衛生費が約8億3千万円、教育費が7億2千万円と大きな不用額になっている。節約によるものもありますが、この不用額の一部を回せば、市民負担を行なう必要はありません。

公正・公開からほど遠い

第3は、負担増など大事な政策決定の過程が市内部の会議で決定されていく、市長の掲げる公正・公開の基本姿勢からほど遠いものです。

市の雇用対策が不十分

第4は、市の雇用対策が不十分です。「埼玉県緊急雇用創出基金事業」は川越市は3年間で約4億1千万円の活用が期待されています。21年度、市の実績は4609万円、今年度約7300万円で期待される目的からは不十分であり、今後、積極的な事業申請が求められます。

川越まつりで交流

一方、評価される施策は、こども医療費が通院を含め小学校3年生まで拡大するなど一定の支援策が講じられています。



市民の利益第一 日本共産党

みなさんの願い実現へ全力



街路樹も色づき、秋の深まりを感じさせる頃となりました。日頃のご支援・ご協力を心から感謝申し上げます。

私は、先の9月市議会会で「小仙波町2丁目の諸問題について（公園整備や水害対策）」、「高齢者の孤立化をなくし温かな市政を」の表題で一般質問しました。いづれも、地域の方々の願いであり安心して暮らせる地域にとの立場で市に実現を迫りました。

高齢者の孤立化をなくし温かな市政を

市は75歳以上の高齢者に敬老の日に1万円以上支給していた健康長寿奨励金を昨年廃止し、喜寿、米寿などの節目支給（長寿祝い金支給）に縮小しました。これにより、民生委員が本人に祝い金を手渡しする安否確認の機会が大半失われました。

私は安否確認を今後どうするのか市にたずねました。福祉部長は75歳以上の方々、23000人全ての把握は難しいと答弁。「埼玉県緊急雇用創出基金事業」は全て国の交付金であり、23年度まで事業を実施することができず、これを活用し、75歳以上の高

緊急雇用創出基金事業で安否確認へ

福祉部長は、緊急雇用創出基金事業を活用した高齢者の安否確認について関係する市緊急地域経済対策室とも協議して対応すると答弁しました。



日本共産党 市議会議員 **もとやま しゅういち** 本山 修一 議会報告 2010年 No4号

市政・生活相談 ～お気軽にご相談下さい～

自宅 川越市三久保町24-46 / 電話 224-8752 (FAX共用)

発行 日本共産党議員団 / 連絡先 川越市役所日本共産党議員団控室
電話 224-8811 (内線3636) / ホームページ <http://www.jcp-kawagoe.jp/>

「旧市内」安心して暮らせる地域に…自然生かした公園整備、水害対策を提案

平成24年度に公園整備へ 郭町浄水場南側の市有地

これまで、本山議員は郭町浄水場の南側の市有地（4343㎡）は湧水や水流れがある場所で、この自然条件を生かして公園に整備して行くべきだと、一般質問で提案。市は自然を保全しながら初雁公園、本丸御殿等のルートでもあり、市民・観光客の休憩スポットとして期待できると公園整備を行なうと答弁してきました。同議員は公園化に向けて、どのように進めていくのか市の考えを聞きました。都市計画部長は、平成23年度に実施設計を行い、24年度に整備工事を予定していると答弁。

水害対策へ、

雨水貯留施設計画

第一小校庭地下に

小仙波町2丁目の市立診療所や上下水道局、浮島神社、オアシスの周辺一帯は市内の低地にあたることから、集中豪雨時には、市内からの雨水がこの地域に流れ込み、短時間で床上・床下浸水、道路冠水が度々発生し、被害をもたらしています。この間、市はオアシス北側に排水ポンプを設置したり、県道川越・日高線に雨水管渠を埋設するなど、浸水対策を行なってきました。しかし昨今、各地で異常な集中豪雨が発生し、深刻な被害が発生しています。本山議員は今後一層の水害対策が求められるがどのように取り組まれるのか市に見解を求めました。



浄水場南側の市有地をもりや前県議と調査



雨水貯留機能を持った 公園整備を提案

市は平成24年度から市立診療所機能を見直すとしています。今後は、内科・小児科・整形外科は民間医療機関に委ねる。歯科は総合保健センター内に（仮称）市立歯科診療所を開設。オアシス南側の清掃事業所跡地に医師会が運営する「休日急患・小児夜間診療所」が開設されます。23年度で同診療所の役割が終了することから、本山議員は同跡地利用について、次のような提案を行いました。そもそも、この一帯は「七つ釜」と言われる湧水場所で、水害常襲地であり、雨水貯留機能をもった一定の空間が広がる公園用地として検討すべきではないか、市の考えを求めました。

保健医療部長は、ご提案いただいたご意見を含め、庁内の関係部署と十分協議し検討して行くこと答えました。

〈9月市議会の経過〉

9月市議会は1日開会され、最終日の24日、平成21年度一般会計・特別会計決算認定議案はじめ、なぐわし公園温水利用型健康運動施設等運営事業契約など追加議案を含め34議案を可決し閉会。

日本共産党議員団は21年度一般会計や同後期高齢者事業・同介護保険事業・同公共下水道事業の決算認定議案、手数料条例の一部改正、重度心身障害者医療費支給条例の一部改正の6議案について市民負担になっていくことから反対しました。その他28議案については賛成しました。



事業部長は、本地区は地表勾配が西側から東側に傾斜している。このことから、県立川越高校及び、川越郵便局方面からの大雨時の流入水の抑制を目的として、第一小学校校庭の一部を利用し、雨水貯留施設の設置を計画していると答弁。

みなさんと力をあわせ、住みよいまちづくりを…日本共産党